学校だより
かみさくのべ

令和8年度
学校だより
令和8年9月24日
川崎市立上作延小学校

10月

自分の目標に向かって突き進もう！

校長　清水　弘彦

台風２４号、２５号の到来とともに長期間停滞している秋雨前線の影響により、まさに「秋の長雨（秋霖）」、記録的な日照不足ともいわれています。子どもたちは空を眺めながら、校庭に出たり入ったりをくり返しています。その他教室で友達と楽しく過ごしたり、実行委員会で忙しそうに立ち回ったりと、充実した時間を過ごしています。中には校長室に遊びに来て得意な折り紙の作品を披露しながら過ごしている子もいました。

すでに始まっていますが、９月１９日（女子サッカーは１４日）～１０月４日までアジア競技大会が、１０月１８日～２４日までアジアパラ競技大会が３２年ぶりに国内で開催されています。先日、サッカーワールドカップが開催された時、上作延小学校はもちろん、日本中で大いに盛り上がりました。アジア競技大会では、４３競技４６９種目（パラ競技大会は１８競技５０２種目）が行われる予定ですが、各選手各国の願いや期待を胸に活躍している姿を応援していきたいです。９月１２日に等々力陸上競技場で行われた小学生陸上記録会に参加した本校の子どもたちは、前日まで校庭で先生方と行った猛特訓が功を奏し、素晴らしい成績を収めました。誰もが友達の活躍に刺激を受けつつ、自分の目標に向かって、突き進んできた成果だと思います。

先日私は「読書の秋」ということもあり、図書室にお邪魔してカウンター前に置かれている課題図書を何冊か借りて読むことにしました。その中の『まだまだここから』という作品について印象に残ったので、お話したいと思います。この作品は水泳に関する物語ですが、主人公が選手コースに入るために練習を重ねてきたのに、テストに合格できなかったことから始まります。自分の弟が先に選手コースに入ってしまったことも、自信を失う原因となりましたが、主人公は、別のプールで巡り合う新しいコーチや同学年の友達のおかげで、気持ちを立て直しますが、今度は選抜大会に進むための予選に落ちてしまいます。ただ、今まで練習してきたこと、コーチや新しく巡り会った友達からの励ましによって、自信を失うことなく、新たな目標に向かって突き進むという内容です。市内で行われた読書感想文コンクール地区審査でもたくさんの作品が集まっていたので、大きな反響を呼んでいるのが伝わってきました。本校図書室カウンター前に、たくさんのすばらしい課題作品とともに置かれており、みなさんが手に取る機会を待っています。

さて、後期が始まるとすぐに運動会が待っていますね。初めての運動会となる１年生、最後の運動会となる６年生、一人一人運動会に対する思いは異なると思いますが、自分だけの目標をもって運動会に臨んでほしいと思います。先ほどご紹介した作品は、目標は達成することだけではなく、目標に向かって努力していく過程が大切だと訴えています。アジア競技大会に参加している選手も、運動会を控えている上作延小学校のみなさんも自分の目標に向かって突き進む過程は同じです。１０月３１日（土）には、全体が自分の目標に向かって突き進む姿を見られることを何よりも楽しみにしています。当日は保護者の皆様や地域の皆様にこのような子どもたちの最高の姿を見守っていただければと思います。今後とも皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。